



# 下呂市 議会だより

GERO CITY  
assembly

74  
令和4年11月1日



## 【国道41号 屏風岩改良着工式】

令和4年10月8日、下呂市立中原小学校体育館において、「屏風岩改良」本線工事の本格着手に伴い、着工式が執り行われました。国道41号屏風岩改良は、下呂市保井戸～下呂市門原間（延長1.0km）の局部改良事業で、防災上対策が必要な箇所を回避することで安心・安全な幹線道路の機能強化を図るとともに、下呂温泉へのアクセス強化を目的としています。

式典では県選出国會議員、下呂市長、下呂市議會議長や地元中原小学校の児童代表などが工事の安全と早期の完成を祈願して鍬入れ式を行いました。

- 9月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 2～P 5)
- 一般質問(会派代表質問、個人質問) (P 6～P11)
- 委員会開催報告、常任委員会管内視察報告 (P12～P13)
- 市民と議会との意見交換会、12月定例会日程、編集後記 (P14)

## 9月定例会の報告

9月1日から9月30日までの30日間において、令和4年第5回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、人権擁護委員候補者の推薦、市功労者表彰の同意、農業委員会委員任命の同意、新型コロナウイルス感染症対策としての地元応援商品券事業に係る補正予算などを可決しました。

また、最終日には、条例改正、新型コロナウイルス感染症による影響に対する下呂市の第9次総合対策に係る補正予算、令和3年度の各会計決算などについて可決・認定しました。

### 上程議案と審議結果

#### ○報告案件

議案名
令和3年度下呂市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
放棄した債権の報告について
健全化判断比率の報告について
資金不足比率の報告について
一般財団法人下呂ふるさと文化財団の経営状況の報告について

#### ○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員候補者として、黒木節子さんを推薦するため議会の意見を求めるもの。	適任 (全会一致)
下呂市功労者表彰につき同意を求めることについて 松山則樹さん、阿部親司さん、藤原由美子さんを市功労者として表彰することに同意を求めるもの。	同意 (全会一致)
下呂市農業委員会委員の任命について 農業委員会委員の任期満了に伴い、嶋田浩さん、中島義彦さん、熊崎みどりさん、林忠助さん、鎌倉誠也さん、中島尊治さん、福井順也さん、中島悠さん、金森茂俊さん、中島義雄さん、山下康子さん、上野耕正さん、小林寿さん、二村昭司さんを新委員に任命するため、議会の同意を求めるもの。	
中山浄化園基幹的設備改良工事請負契約の締結について 中山浄化園基幹的設備改良工事請負契約をクボタ環境エンジニアリング株式会社中部支店と締結するもの。	可決 (全会一致)
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第7号） 新型コロナウイルス感染症対策事業として地元応援商品券事業、事業者月次支援金事業等に係る費用を補正するもの。	
和解することについて 消防救急デジタル無線設備の機器製造業者等に対する損害賠償請求事件について和解するもの。	
下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について 非常勤職員（会計年度任用職員等）の育児休業の取得要件等を緩和、柔軟化するため、条例を改正するもの。	
下呂市地域コミュニティ施設設置条例を廃止する条例について 公の施設見直し方針に基づき、地域コミュニティ施設および農村公園施設を地域に譲渡するため、条例を廃止するもの。	
財産の譲与について 下呂市萩原ふれあいの家および薬師平農村公園の工作物を施設が所在する羽根区に譲与するもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	審議結果
萩原小学校長寿命化改良2期工事（建築）請負契約の変更契約の締結について 萩原小学校長寿命化改良2期工事（建築）について、契約内容の一部を不施工とすることなどにより、変更契約を締結するもの。	可 決 (全会一致)
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第8号）	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号）	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第2号）	
令和4年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市水道事業会計補正予算（第2号）	
令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第2号）	
令和4年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第1号） 新型コロナウイルス感染症による影響に対する下呂市第9次総合対策、電気料金高騰等に係る費用を補正するもの。	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第9号） 農地・農業施設および公共土木施設の災害復旧、通常の事務事業に係る費用を補正するもの。	認 定 (全会一致)
令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算の認定について	
令和3年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について	
令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）決算の認定について	
令和3年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について	
令和3年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について	
令和3年度下呂市水道事業会計決算の認定について	
令和3年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について 令和3年度各会計の決算の認定を求めるもの。	

○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成 ×…反対

議 案 名	議 員 名											審議結果			
	鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤嚴悟	一木良一		吾郷孝枝	中島新吾	中島達也
令和4年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	×	×	○	可 決 認 定 (賛成多数)
令和4年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	
令和3年度下呂市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	
令和3年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	
令和3年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	
令和3年度下呂市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	×	○	

## 総務教育民生 常任委員会

9月20日、定例会初日に付託された4議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 『和解の申し立て』

(平成23年9月に契約締結した「消防救急デジタル無線整備工事」に係る共同不法行為に基づく損害賠償請求事件について和解するもの)

**Q** 今後の消防救急デジタル無線設備の更新においても、「119番の受付指令装置」との接続が必須となり、その装置製造業者にとって有利に働く可能性もあるが、行政としてどう考えているか。

**A** 将来的には、「デジタル無線」と「119番の受付指令装置」の同時更新も考えており、公平性も重視した更新計画の策定を行いたいと考えます。

### 『下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について』

(人事院規則の改正に準じ、非常勤職員「会計年度任用職員等」の育児休業の取得要件等を緩和、柔軟化するため改正するもの)

**Q** 育児休業の取得要件の緩和、柔軟化はとて面白い方向ではある

が、市の男性職員の育児休業取得の現状は。

**A** 平成27年度以降、男性職員の育児休業の取得はないが、数人から育児に参加したいとの意向を確認しています。今後、職員が積極的に休業制度を活用できる職場環境づくりに向け取り組んでいきたいと考えます。

案件動向を共有するサービス  
You Tubeにて視聴できます。



## 予算特別委員会

9月22日、定例会初日に付託された11議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 『医師招へい事業』

※下呂温泉病院への心臓内科医師着任に伴い、医療機器購入に対し半額補助するための増額補正

**Q** 心臓疾患で市外医療機関へ緊急搬送されるケースが非常に多い中、心臓内科に関する医療機器導入により、市外搬送の減少および心臓疾患を抱える方の安心につながることになるのか。

**A** 下呂温泉病院で購入予定されているのは、心臓運動負荷試験装置というもので、心臓疾患を抱える方でも、心臓に負担をかけず安心して長時間運動が続けられる運動強度を測定する検査機器です。この検査を行うことにより、心臓疾患治療後の方に対し、安全で効果的な運動強度を示すことが可能となり、心臓リハビリや心疾患の治療に役立てられます。

### 『生殖補助医療通院交通費助成事業』

※遠方の医療機関で体外受精、顕微受精等の不妊治療を受診される場合の交通費助成を行うための増額補正

**Q** 不妊治療に係る交通費助成は、治療に要する経済的負担の軽減につながり、不妊治療へのサポートとなるが、具体的な助成制度の内容は。

**A** 治療1回当たり1回支払うもので、治療が終わるまで助成を行うことを考えています。助成額は、自家用車使用と公共交通機関利用に区分し、公共交通機関利用の場合は、往復に係る費用の4分の1を支給する考えです。ご夫婦で受診される場合もお二人分で算定することになります。自家用車使用の場合は150キロメートルを上限としています。

### 『介護関連施設整備事業』

※下呂市デイサービスセンター「やすらぎセンター四美」の老朽

化した設備等を修繕するための増額補正

**Q** やすらぎセンター四美をはじめとするデイサービスセンターは、利用度がとても高く、今後利用者が増加するものと考えます。公設デイサービスセンターについては、過ごしやすい環境づくりに市がしっかりと取り組んでいくべきであるが、その考えは。

**A** デイサービスについては、民間で提供されているところもありますので、そちらとのバランスは配慮が必要ですが、基本的には、高齢者の方々の介護というのは市が責任を持ってやるべきであり、高齢者福祉施設もしっかりと守っていくべきと考えますので、その方向で進めさせていただきます。

### 『市有林整備事業』

※令和5年度から令和9年度までの5カ年計画で国補助金を活用し、搬出間伐などの市有林整備を実施するために必要な経費の債務負担行為補正

**Q** この市有林整備が下呂市の林業の活性化のモデルとして、多くの市民に見てもらえるような形で実践されたい。

**A** 実施場所は、萩原町四美深谷の全国植樹祭開催跡地・皇樹の杜周辺の市有林37・86ヘクタールです。実施に当たっては、プロポーザル方式で事業者を選定しますので、ご提案も踏まえ、プロポーザルを実施したいと考えます。

## 決算特別委員会

9月26日、27日、28日の3日間、委員会を開催し、付託された令和3年度における一般会計、7つの特別会計、および4つの公営企業会計の決算について審査し、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

### 【一般会計】

#### （財政調整基金の活用）

**Q** 災害対策基金の残高も増えつつある現在、財政調整基金をもっと市民が必要としているところに使すべきでは。また、総務省が示す基準に照らして市長が確保しようとする財政調整基金の残高は妥当と考えるが、財政調整基金を積み増すことにより、行政サービスの低下につながるのではないか。

**A** 今回の商品券発行事業はまさに緊急時における対応であり、本来に物価高で苦しむ市民の下支えとなるよう、基金を取り崩して実施するものです。また、市民サービスと財政調整基金は結びつくものでなく、あくまでも財政調整基金は緊急時の市民のための最後の砦として蓄えるものであり、現状の市民サービスを維持しながら、別に財源を確保し、さらなるサービスの向上を目指していきます。

#### （体育施設の管理体制の見直し）

**Q** 現在、管理委託している体育施設の契約更新に当たり、管理体制の見直しを考えているか。また、休日夜間の予約や料金の支払いが可能となるシステムの導入の考えは。

**A** 管理委託等の体制をすぐに見直すことはできません。市の体育施設全体の長寿命化や管理の仕方を見据えながら検討していきます。予約システムについては、スポーツ施設に限らず、公民館などを含め、市全体のデジタル化の中で導入可能か検討中であり、いずれは導入できる方向で進めたいと考えています。

#### （給食食材の地産地消）

**Q** 下呂市の特産品である飛騨牛を積極的に学校給食に活用し、地産地消を推進する考えは。

**A** 給食への地元産食材の利用については、特に野菜を中心に取入れ、月1回ふるさと給食の日を設定し、取り組んでいます。市としても食育として子どもたち、また、畜産農家を応援していくという意味で地元産食材の使用に力を入れていきたいと考えています。

#### （農林業の人材確保）

**Q** 生産力低下の要因として高齢化による人材不足が深刻であるが、移住者も含めた人材確保、また、鳥獣被害対策を強化するため

の猟友会会員確保についてどう考えているか。

**A** 人材育成のため、地元高校生が林業関係の学校へ進学できるような取り組みを検討していきます。また、有害鳥獣捕獲に当たる猟友会員（実施隊員）は、現在120名ほどであり、辞められる方がいる一方で新規の加入もあります。高齢化が進んでいる中、引き続き若い人の加入を図っていきます。

#### 【介護保険特別会計（保険事業勘定）】

#### （地域密着型介護サービス）

**Q** 市民にとって小規模の介護サービス施設は大変ありがたいと考えているが、経営・人材確保の面で厳しい状況と聞いている。市としての考えは。

**A** 市としても、小規模で地域に密着したサービスを提供できる施設の重要性は認識しています。費用がかかりなかなか進まない大規模施設整備を補うものとして、人材確保をはじめ、さまざまな面で支援していきたいと考えています。

#### 【水道事業会計】

#### （老朽化した水道管の整備計画）

**Q** 厳しい事業運営であることは承知しているが、老朽化した水道管の整備計画は立てられているのか。

**A** まずは災害時における断水のリスクが軽減されるよう、市内に給水拠点を定め、そこまでの管路の耐震化を優先的に進めるよう、整備計画を策定中です。

#### 【下水道事業会計】

#### （下水道への加入問題）

**Q** 経営を安定させるためには、加入率を確実に上げていくことが重要と考えるが、市の考えは。

**A** 排水設備の改修に多額の費用と自己負担がかかり、難しい部分もあるが、普及率の増加は効果的な処理につながることから、加入への働き掛けを行っていきます。

#### 【下呂市立金山病院事業会計】

#### （金山病院の経営）

**Q** 病院運営のためには療養病棟の稼働率増加と専門医師の招へいが重要である。今後に向けて経営改善計画の策定は。

**A** 国から示された「持続可能な医療提供体制に係る公立病院のガイドライン」に基づき、現在、公立病院強化プランを策定予定であり、病院の規模や機能、現状ニーズに合わせた病院形態を考えていきます。また、10月から始まる県のDX推進において、地域医療全体の中で金山病院の立ち位置を考え、役割が担えるような病院を目指していきます。

議員名下のQRコードから代表質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



7番 中島ゆき子議員



## 下呂市の医療体制について

①令和3年中に救急搬送された人の内、約30%は市外の医療機関へ搬送されているが、その分析は。

### ◆消防長

市内病院での受入れの縮小、病歴に適した治療と治療後の見通しを考慮した搬送先決定などにより、市外への搬送が増加していることが考えられる。救急搬送は直近病院への搬送が基本であるが、専門治療ができない場合は市外病院への搬送が必要となる。ドクターヘリなど、救急医療の現状が変化していることも事実である。

②市外へ搬送されている間の他の救急車の体制は。

### ◆消防長

市外への搬送中においては、その管轄に近い別の署の救急車が対応する。救急車の不在が長時間にわたる場合は、所属の判断で救急支援や消防車での対応ができるように人員を確保し有事に備えている。

③市外の医療機関との緊急時における連携体制は。

### ◆消防長

救急隊は、岐阜県救急隊活動プロトコール（現場活動の基準）に従って活動し、市外へ搬送する必要があると判断した場合は、各病院へ直接連絡を取り搬送している。搬送病院が決定しない場合は、岐阜県メディカルコントロール協議会の選任医師が搬送病院を決定する体制が整えられている。

### ◆市民保健部長

④高齢化が進み専門分野の医師が必要と考えるが、医師の確保は。毎年1月に市長、金山病院院長が岐阜大学附属病院の各医局へ医師派遣のお願いに行っているほか、県担当課とも連携を図りながら、市内公立病院等への医師派遣のお願いをしている。

⑤県立下呂温泉病院の医師確保に向けた市としての協力体制は。

### ◆市民保健部長

産婦人科医療確保事業費補助金の交付、医師招へいに伴う医療機器購入など、経済的支援を行っている。

⑥看護師等修学資金貸与事業について、貸付条件の見直しの考えは。

### ◆市民保健部長

今年度中に下呂看護専門学校への聞き取りや各病院における看護師の充足状況、新規採用の考え方など意見集約し、問題点、課題の洗い出し作業を行い、制度の見直しを行っていききたい。

## ふるさと寄附金について

①令和4年8月31日時点におけるふるさと寄附の実績は。

### ◆観光商工部長

寄附件数2,864件、寄附額1億2,714万7千円。前年同期の比較では寄附件数113%、寄附額134.4%。

②「元気なふるさと応援事業」に係る寄附が増えている中、振興事業所管事業への寄附金の活用状況は。

### ◆観光商工部長

令和3年度は、萩原地域地域振興事業493万8千円、小坂地域地域振興事業808万円、小坂地域地域振興事業臨時100万円、下呂地域地域振興事業1,311万2千円、下呂市民会館管理費臨時施設維持工事費100万円、金山地域地域振興事業1,414万8千円、金山市民会館管理費80万円、馬瀬地域地域振興事業591万8千円、合計5,619万6千円。

③「元気なふるさと応援事業」に係る寄附金の地域振興事業への充当割合について、振興事務所で差が生じているが、その理由は。また、本来充当すべき事業内容は。

### ◆観光商工部長

令和3年度の地域振興事業への寄附金の充当は、令和2年度の寄

附者の意向を踏まえた上で充当している。充当割合に地域差が生じていることは、市として意図的に振り分けしているものではない。充当すべき事業内容としては、①指定の地域振興事務所の先駆的な取り組み、重点的に実施する地域づくり事業等  
②①に該当のない場合、地域づくり団体に対する支援事業等  
③①、②の該当事業がない場合、当該地域の次年度の地域振興事業へ充当する。

この振り分けルールにより各事業に充当をしている。

④寄附金に係る応援メニューを目的別に設定する考えは。

### ◆観光商工部長

手法として、自治体が実施する「クラウドファンディング型ふるさと納税」がある。今後は市各部署における事業で用いる場合のルールをつくり、必要な事業にはこの手法を適用することを検討していく。

## 政策研究会 皐

- 登 己 士
- 喜 昌 哲
- 中 見 島
- 田 鷺 森 中

# 一般質問 10人が市政を問う

各議員名下のQRコードから一般質問の映像を動画共有サービス「Youtube」にて視聴できます。



1 番 議員 鷲見昌己



②登山道および噴火に対する安全対策は。

### ◆総務部長

県補助金を活用し、登山道に避難小屋の設置や木道等の整備を実施した。下呂市側での避難シエルトー建設を県と協議している。

③エコツーリズム等、総合的な取り組みや考えは。

### ◆まちづくり推進部長

情報収集や補助金制度活用を研究し、利活用を図る関係者にも周知を進めたい。

飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの現状と課題について

①岐阜県、高山市との連携強化の状況は。

### ◆まちづくり推進部長

推進協議会を設置し、課題や地域振興などに対する取り組みを密接に連携して進めている。

②合宿利用やトップアスリートとの交流事業の状況と今後の計画は。

### ◆まちづくり推進部長

合宿団体と市民をつなぐ交流事業を行っており、同様の取り組みを継続実施していきたい。

③高地トレーニング推進に向けたクラウドファンディングやふるさと納税の計画は。

### ◆まちづくり推進部長

施設整備や改修の財源について、ブランド力を活かした外部資金確保に向けた検討を進めたい。

交通弱者の移動手段について

①ボランティアや地域の助け合い活動の力を借りて、地域の移動手段を確保する道路運送法上の「許可・登録を要しない輸送」に対する支援の考えは。

### ◆まちづくり推進部長

検討している地域や団体に対し、国、県などの法令的な相談対応や、先進事例の紹介、事務手続きなどの支援を行っている。市も一緒に考えるという姿勢で支援をしている。

②介護予防・生活支援サービス事業と一体的に行う移動支援「訪問型サービスD」を活用した取り組みの現状と今後の取り組みは。

### ◆福祉部長

県内で取り組んでいる市町村はない。来年度の第9期介護保険事業計画の策定作業の中で行うニーズ調査等の結果も踏まえ、検討を進める。

③市民参加型予算を指しした「1%支援制度」創設の考えは。

### ◆地域振興部長

実施方法は導入自治体によって

異なり、既存の住民参加制度との関連等もあるので、一つの考え方として慎重に検討したい。

市民の利便性を高めるDX（デジタルトランスフォーメーション）について

①市民の安全・安心な社会の実現を構築するため、災害情報の収集・蓄積・伝達、予測のデジタル化や、交通弱者の移動手段確保等に向けたまちづくりDXの推進の考えは。

### ◆まちづくり推進部長

令和5、6年度で市役所の通信環境の整備を計画しており、災害に強いネットワーク環境を構築する。

### ◆総務部長

現在、各種災害情報発信ツールや岐阜地方気象台や岐阜県が発信している防災情報等を活用しており、今後もデジタル技術を活用した災害対策を進めていきたい。

### ◆まちづくり推進部長

来庁者の目的に応じた相談や各種手続きができる環境づくりを目指して、デジタル技術を活用した市民相談窓口の設置を検討している。今できることから随時取り組んでいきたい。

### 御嶽山の国定公園指定に向けて

①環境省が新たな候補地に選定したが、岐阜県、長野県、高山市との連携と市として対応は。

### ◆環境水道部長

意見交換を行い、各自自治体が情報共有、連携しながら歩調を合わせて取り進むことを確認している。地元関係団体の意見を踏まえ、県、高山市などと連携し、自然保護と利用増進について協議していく。

②指定のメリット・デメリットと想定される市への影響は。

### ◆環境水道部長

国の補助制度の活用が可能となり、必要な事業を計画的に実施できることが期待される。

御嶽山を含む周辺エリアの今後について

①道路および情報通信網の整備状況と今後の計画は。

### ◆建設部長

アクセス道路の充実について、飛騨3市1村が連携し、効果的な要望活動などにより道路管理者である県に働きかけていく。



8番 (公明党)  
田中副武議員



## 不登校特例校について

全国の小中学校で令和2年度の不登校児童生徒は、8年連続で増加し、過去最多となっている。不登校児童生徒の状況に合わせた柔軟な授業カリキュラムを組むことができる不登校特例校についての認識と設置の考えは。

## ◆教育長

教育相談員、スクールカウンセラーの配置、適応指導教室の設置など、一人一人の児童生徒の実態にに応じて寄り添った支援を行っている。不登校特例校の設置については、対象者数が設置するほどに至っていないという判断から現段階では考えていない。

## ◆帯状疱疹ワクチンについて

帯状疱疹の原因となるウイルスは、成人の90%以上の人の体内に潜っており、50歳を境に発症率は急激に上昇する。帯状疱疹にワクチンが有効な事を知らない方が多いが、その周知や市としての接種推奨の考えは。

## ◆市民保健部長

市では国での審議を注視してい

る段階であることから、広報等の周知は行っていないが、今後の国の帯状疱疹ワクチン定期接種化に向けた動向を見ながら周知や接種推奨も含め検討していきたい。

## ◆公の施設の見直しについて

①平成25年から取り組んできた公施設の譲渡民営化や、廃止などの方針に基づく見直しについて、方針の総点検を行うとなっているが、その進捗と今後の予定は。

## ◆まちづくり推進部長

総点検として令和3年度に公の施設見直し事業の検証作業を実施しており、一旦区切りとした。今後は、一律的な判断は行わず、各施設の方向性を総合的に検討した上で決定して行くこととしている。これまでの取り組みを踏襲しながらも、柔軟に対応する。

②旧馬瀬中学校利用の豊実精工(株)の工場を視察した。体育館も工場施設として所望してみえたが、市としての考えは。

## ◆まちづくり推進部長

豊実精工(株)の将来性と、旧馬瀬中学校体育館を廃止した場合の影響を考えながら、総合的に判断していく必要があると考える。地域の方々、利用者の方々の意見を伺いながら、慎重に進めていきたい。



6番  
尾里集務議員



## ◆未来を担う子どもたちの教育環境の整備を確実に

①学習指導要領改訂のポイントと新要領に基づく教育の実践状況は。

## ◆教育長

今までの一斉指導の授業から、その子に応じた学びを大切にしようとする授業改善に力を入れていく。学校教育を社会と共有・連携しながら実現させていくため、学校運営協議会を中心にその実現を図っている。

②校舎改修、新たな学習教材の整備など、今後の課題と方向性は。

## ◆教育委員会事務局長

学校施設の長寿命化計画に基づき、順次学校施設の整備を行っている。建物耐力度調査の状況、児童生徒数、社会情勢、国の動向により随時計画を見直しながら進めていく。新たな財源確保が難しい状況下だが、必要な整備を行っていききたい。

③中学生の部活動のあり方に関する今後の方針は。

## ◆教育長

現在の合同部活動を推進するほか、指導者の確保、練習等に係る

移動手段の確保、市スポーツ協会やスポーツクラブとの連携が必要となる。文化活動においても同様に考えていく必要がある。

## ◆重点道の駅「飛騨金山めぐ森の里温泉」周辺エリアの今後について

①閉鎖となっている「ゆつたり館」の地域利用の状況は。

## ◆金山振興事務所長

金山町商工会総会での利用、また、地域有志マルシェが開催され多くの来場者で盛況だった。利用の申し出や、イベント開催の意向も聞いており、今後の活用に向けてしている。

②エリア内既設公園の再整備、四つの滝整備の考えは。

## ◆金山振興事務所長

公園整備について、市の全体計画の中で協議を進めていきたい。四つの滝整備は、階段補修や市道の路面補修などの改良について関係部署と調整を行い、自然景観を安全安心に楽しめる環境を整え、街中観光資源と結びたいと考える。

## ◆地籍調査事業の推進について

森林境界明確化事業の実施内容を地籍調査事業に活用できないか。

## ◆建設部長

土地所有者の高齢化が進む中、森林境界明確化事業の成果の活用は有効な手段と考える。林務課や関係団体と連携を図り、積極的に活用しながら確実に地籍調査事業の推進につなげていく。





3番  
飯塚 英夫 議員



### 災害弱者等誰ひとり取り残さない避難計画について

①自ら避難することが難しい要介護の在宅の高齢者や障がい者に係る個別の避難計画は作成されているか。

#### ◆福祉部長

市の個別避難計画は、現在策定に向けて作業を進めている。障がい者については、課題の整理等、策定に向けて準備を開始した。要介護者についても、地域ケア会議において豪雨災害での経験に基づき、取り組みを始めている。

②避難所での物資面の支援強化として、特に女性に配慮した避難所環境の整備や衛生用品などの常備備蓄は充実しているか。

#### ◆総務部長

市避難所運営マニュアルに「女性の視点での避難所運営」として、専用更衣室、洗濯場の専用スペース、専用トイレの確保、専用相談窓口の設置について掲げ、プライベートスペースを確保する間仕切り等を整備している。衛生用品など市としての備蓄はないが、市内

事業所等と災害時の物資供給協定を締結し、衛生用品の提供を受ける体制を整えている。

### 自転車シェアリングについて

本年4月から湯めぐり館に下呂温泉を巡るレンタサイクルが設置されたが、利用範囲の拡大や利用形態の見直し等ができないか。

①市内のJR駅駐輪場や各振興事務所など、貸出場所を拡充し、借りた場所とは別の場所に返却（乗り捨て）ができるようにならないか。

#### ◆観光商工部長

現状、各地域のレンタサイクル事業は、運営者が異なり、手続きや設置場所、自転車の種類が異なるため、相互の乗り捨てを行うことは困難である。今後、利用者情報を蓄積して検証を行い、課題を整理しながら運営者に提案をしていく。

②脱炭素社会の実現に寄与し、また災害時の移動手段としても活躍すると思われるが、そういった視点で配置する計画はないか。

#### ◆観光商工部長

災害時のレンタル料金の軽減・免除・特例など、運営者もそういった想定がないため、検討が必要となる。配置台数も平常時利用での台数であり、災害用に配置することは困難と考える。



13番（日本共産党）  
中島 新吾 議員



### 物価高から市民のくらしと地域経済をしっかりと支援を

①市民のくらしへの打撃はより大きくなる。公共料金の負担軽減を、とりわけ子育て世帯の負担軽減を、具体化することを強く求める。

#### ◆まちづくり推進部長

子育て世帯への新たな負担軽減として、放課後児童クラブについて、これまで以上に利用しやすい施設とするため、利用料金の引き下げを検討している。

国の動きを十分注視しつつ、各事業関係者からの意見を踏まえ、引き続き必要な対策の検討を行っていく。

②中小事業者の経営の厳しさはより深刻で先が見えない。事業経営が継続できるよう支援することが強く求められている。

#### ◆観光商工部長

補正予算に事業継続と、新たな展開に意欲的に取り組む事業者を支援するための予算を計上している。市の支援策と合わせて国、県の支援制度についても、事業者に

広く行き渡るよう商工会とも連携し引き続き周知していく。

③インボイス制度が小規模事業者の経営を直撃することは明白である。その対策についての考えは。

#### ◆観光商工部長

課税事業者の登録を希望される事業者に、商工会や高山税務署の説明会や個別説明の機会を活用しながら、きめ細やかな対応が行えるよう引き続き関係機関と連携して周知を進めていく。

### 農業が地域で続けられるために

市は農地を守る、地域の集落を守るという強い方針が必要。生産現場での生産する力が深刻なまでに落ち込み、先行きへの不安は大きくなるばかり。学校給食に多くの地元産農産物を使い、その拡充で「農家の生産意欲」を励ましていくことを具体的にすすめる。

#### ◆教育委員会事務局長

地元の有機農産物を価格や供給面について農家と協議しながら取り入れていきたい。

また、県が進める計画の指標に学校給食における地場産物の使用割合の目標が定められており、県産野菜にとどまらず下呂市産野菜をいかに活用していくということを見越して、購入費用の一部を継続的に支援していけるような方策を考えている。



12番 (日本共産党)  
吾郷孝枝 議員



**弱者に優しい避難所の環境整備について**

指定避難所における停電対策やプライバシー確保対策、弱者に配慮した資機材の整備が大切。現在未設置のスポットクーラーやエアーマット等の今後の配備予定は。

◆総務部長

各地域の指定避難所に、必要な資機材が配備され、より地域に合った弱者に優しい避難所となるよう環境整備推進は市としても喫緊の課題である。スポットクーラーなどの整備も計画しており、少しでもストレスが緩和できる避難所整備に努めていく。

**コロナ感染拡大防止、検査キット配布の拡大を**

介護・福祉施設、こども園、児童館のスタッフ以外にも、消防士や教職員などエッセンシャルワーカーに検査キットの配布を拡大すべきではないか。

また、感染の心配や不安のある人が、いつでも自宅や事業所で検査できるように検査キット購入の

助成ができないか。

◆市民保健部長

8月初旬から検査キットの流通が滞る状況が見受けられ、医療機関でも検査キットが不足し、発熱外来診療に影響を及ぼした。医療機関など必要な場所で安定した確保ができる体制の整備が重要であると考え、検査キット配布の拡大は考えていない。キットの不足が生じると混乱を来すことも考えられることから、現段階では助成についても考えていない。

**高齢者の社会参加促進のために**

高齢者の社会参加促進のために、加齢による難聴の高齢者を孤立させず、認知症につながるようなようにする取り組みを本気になつて進めるべきではないか。また、次期介護保険事業計画策定に向けて、「聞こえの調査」を重視すべきではないか。

◆福祉部長

聞こえづらさも認知症リスクのひとつとして、その他の体の衰えや困りと同様に対応している。まずは、孤立感を感じない方向に誘導することが重要であるので、第9期介護保険事業計画においても通いの場等への参加誘導を進めたい。第9期介護保険事業計画のニーズ調査において「聞こえ」も調査するので、その結果に応じ対応する。



10番  
伊藤厳悟 議員



**少子化、人口減少対策について**

①出生数と出生率の推移について。

◆市民保健部長

令和3年度の出生数は1211人で、令和2年度より8.5%減少、10年前からは51.4%の減少。出生率は令和2年分の最新数値4.8人で前年より7.7%の減少となっている。

②子育て、教育支援について。

◆福祉部長

こども園や放課後児童クラブの運営、託児事業、拠点施設の運営といった各種子育て支援策の充実を図っている。

◆教育長

個々の興味関心を大切にその子に応じた指導と学びが成立する指導改善と教育環境の整備、そして、下呂市の魅力である「地域の教育力」「子育て環境」を将来に向けても大切にしていきたい。

③若者の地元定着状況について。

◆観光商工部長

令和4年3月益田清風高校卒業生で就職した51名のうち、市内事業所に就職した方は14名です。

④産業、雇用、住宅等の施策について。

◆観光商工部長

企業支援としては、設備投資と新規雇用の人数に応じて助成金を支出している。雇用では求人ポータルサイト「下呂で働こう」で、求人事業所のPRをしている。

◆地域振興部長

今後も引き続き、移住施策の検討・拡充に努め、下呂市の魅力をPRし移住促進を図っていく。

◆まちづくり推進部長

移住者の市営住宅への入居支援や、補助金制度などを設け、各種施策を展開している。

**県立下呂温泉病院の重要性について**

①県立下呂温泉病院の受診状況について。

◆市民保健部長

当病院からの情報では、令和3年度の入院患者数は4万2,425人、外来延患者数は7万3,653人。令和4年7月末までの入院患者数は1万3,348人、外来延患者数は2万1,456人。

②金山病院との連携について。

◆金山病院事務局長

医師の派遣に関する協定を締結し、役割分担しながら医療を提供している。職種ごとの連携も進めており、それぞれの病院機能を發揮し、連携を図りながら、地域医療提供体制の確保に努めていく。



2番  
田口 琢 弥 議員



**無料PCR・抗原検査について**

①県の新型コロナウイルス感染症対策事業として、市内の幾つかの薬局・検査場でPCR・抗原検査が無料で行われている。市民および県内外の方の検査人数の把握など、情報共有はできているか。

**◆市民保健部長**

市内検査センターの月ごとの総検査件数と内陽性者数について情報提供を受けている。県事業であることから、検査状況の詳細については、市への報告義務はなく、市民および県内外の検査数は検査センターの業務負担となることから、把握していない。

②県は無料検査の実施を9月末までとしているが、その後の検査実施に関して市の考えは。

**◆市民保健部長**

県が実施する無料検査事業は、現在は9月末までであり、期間延長の連絡は来ていない。無料検査事業は、感染拡大時に県民が不安に感じる場合に、県知事の判断により実施できるものであり、市としては、独自の無料検査事業の

実施は現在考えていない。

③福祉施設等の感染防止対策を強化するための抗原検査キット配布の状況は。今後、継続して配布されていくのか。

**◆福祉部長**

この事業は施設のニーズを受け、市の第9次総合対策として9月2日に対象施設にすべて配布を完了した。施設側の自己防衛としてキットを常備するところも増えてくると考える。今後の感染状況を考慮しながら適切に判断していく。

**◆教育委員会事務局長**

小学校では、教職員が予防的PCR検査を積極的に活用するということで2週間に1回、抗原簡易検査キットも同様に活用して週1回実施している。今後の継続については、県の動向を注視しながら進めていきたい。

**◆下呂市の奨学金制度のあり方について**

下呂市育英資金条例に基づく育英資金の給付・貸与の対象と実績は。

**◆教育委員会事務局長**

令和4年度に高校生16名に給付、大学生等14名に貸与を決定した。今後は、対象者の申請状況や、他自治体の動向、経済情勢などを踏まえつつ、継続実施の方向で検討していく。



11番  
一木 良一 議員



**◆電力エネルギーについて**

①新電力への切り替えから、電力最終保障供給契約に至るまでの費用負担の推移について。

**◆まちづくり推進部長**

高圧電力施設について新電力と契約を行い、8年間で電気料金2億円の削減効果があったと試算。電気料の高騰による市有施設への影響額は、令和4年6月時点で1億2,760万円程度の歳出増と試算する。

②開発協議が伴う太陽光パネル設置事業の市内設置件数と内容および現状把握は。

**◆建設部長**

平成29年9月以降、地上設置式の太陽光発電設備の設置に係る開発協議の協定締結件数は83件、うち設置完了済68件。事業完了後は市担当職員が現地確認を行っている。

**◆開発事業と環境について**

①開発事業の手続きについて。

**◆建設部長**

条例に手続きが必要な行為が規

定されており、該事業の施行に必要なとなる法令上の許可申請に先立ち、当該事業計画に係る開発協議が必要となる。

②開発協議、開発許可内容に係る市・県の罰則に対する強制力と権限について。

**◆建設部長**

条例および県規則に罰則規定はない。事業者が開発協議の申出をしなかったとき、条例や県規則に基づく指導もしくは要請に応じないで施行したときなどは、助言・勧告・公表することもできる規定が設けられている。

**◆小坂町大島1号線拡幅、待避エリア整備について**

①事業の進捗状況は。

**◆建設部長**

大島谷橋梁工事の竣工後、橋から小坂斎場までの市道拡幅について検討した。用地取得の見込みが立ったところで事業着手する方針であり、事業着手には至っていない。

②小坂診療所への緊急時の重要なライフラインでもある大島1号線をどう考えるか。

**◆建設部長**

小坂診療所から先の踏切から小坂斎場までの区間約600メートルは、待避エリアの整備などによりすれ違いができるスペースを確保したいと考える。

## 下呂駅周辺エリア等 整備特別委員会

9月16日、委員会を開催し、旧下呂温泉病院跡地の活用に向けた関係団体等が参画する活用委員会での協議内容等について執行部から報告を受けました。主な質疑の内容は次のとおりです。

### 「リハビリ棟跡地の駐車場整備計画について」

**Q** 植栽の種類の選定について管理しやすい中低木の植栽を提案しています。いろいろな意見があったので、慎重に進めていきます。

**A** 整備する駐車台数で必要台数を確保できるか。

**A** リハビリ棟跡地に整備する台数だけでは足りないもので、利用状況を見ながら別の場所でも検討したいと考えています。建設費用から、立体駐車場は難しいと考えます。

### 《本館棟跡地に整備計画する機能について》

**Q** 地元の公民館が危険な区域にあるが、避難所機能を望む意見はなかったか。

**A** 話はありませんでしたが、強い要望としては出されていません。建物ができる計画となれば、避難所機能として使っていたことも考えられますが、エリア全体の中で協議していきます。

## 新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会

田中喜登委員長から一身上の都合による委員長辞任願が提出されたことを受け、8月18日、委員会を開催し、後任の委員長に伊藤厳悟議員が選任されました。

また、9月14日、委員会を開催し、ワクチン接種の現況および今後の計画について執行部から説明を受けました。

## 濃飛横断道・ リニア特別委員会

9月16日、委員会を開催し、執行部から状況報告を受けました。

リニア中央新幹線整備については、県内の建設工事の進捗や建設促進期成同盟会等の活動、およびリニア開業を見据えた県の取り組みについて説明がありました。

濃飛横断自動車道整備については、事業の進捗や事業促進期成同盟会の活動と今後の要望活動等について説明がありました。

委員からは、「今までの遅れを取り戻すためにも地元の強い熱意を、中津川や郡上と一体となって国、県へ伝えてもらいたい。」との意見があり、市長からは、「30年遅れているというような思いもあり、遅れを全力で取り戻していきたい。」との表明がありました。

## 委員会管内視察

### 総務教育民生常任委員会

7月11日、総務教育民生常任委員会において視察研修を行いました。

#### 《豊実精工(株)馬瀬事業所》

「廃校になった校舎を利用して環境に考慮した取り組みで社会に貢献し、今後、高校、大学の新卒雇用をはじめとする下呂市民の雇用、また移住定住促進のためにも市外からの雇用も進めるとともに、将来的には本社機能を持つ拠点としたい。それにより、国内外からの視察や移住者の増加、市内への経済波及効果も期待できる」との社長の熱い思いをお聞きしました。



#### 《金山集落支援員活動報告》

移住への経緯および今後の活動展開について、移住者である集落支援員の鈴木 亘(わたる)さんと懇談しました。

閉校した東第一小学校を拠点に住民との連携による地域の活性化に向けた取



り組みと課題について伺い、理解しました。

#### 《ICTを活用した授業参観》

##### 【金山小学校】

電子黒板やタブレットを活用したICT教育を実践している授業を見学しました。画像により分かりやすく説明ができ、クラス全員が進捗が把握できる等のメリットがあるが、教員がタブレット操作を熟知する必要があり、教員の負担や子どもたちの視力を心配する声もありました。



#### 《教員の働き方改革の実践》

##### 【金山中学校】

教員の働き方改革の一環で、4月から市内全中学校で授業時間を確保したうえで、4時半下校を実施しています。「以前は教員が仕事に追われ教員間で話し合う余裕もなかったが、超過勤務が少なくなり、教員は心に余裕ができ、授業を上手く進めるための情報交換や新たな発想に取り組む時間ができ、問題点など教員間で共有できるようになった。また生徒も趣味などに使う時間や家族と過ごす時間、睡眠時間が増えたなどメリットがある」との説明がありました。

## 委員会管内視察

### 産業経済常任委員会

7月11日、産業経済常任委員会において市内に誘致した企業、圃場整備の状況、国道41号「屏風岩改良」・「門原防災」の進捗状況を確認するため、視察研修を行いました。

#### 《豊実精工（株）馬瀬事業所》

豊実精工（株）社長から本工場の事業内容と、馬瀬地域に工場を建設した経緯について話を伺いました。

六価クロムを使わない新しいコーティング技術により、環境汚染がないことをPRするには絶好の場所であることから、川と自然が美しい旧馬瀬中学校を選んだと説明を受けました。

馬瀬地域に新しい産業ができたことにより、人口減少に歯止めがかかり、にぎわいが戻ってくることを期待します。



#### 《萩原町羽根地区圃場整備》

羽根区長・土地改良組合長・羽根ファーム代表から説明を受け、圃場整備された現場を確認しました。

萩原町羽根土地改良区は、昭和29年に設立され、平成27年から「経営体育成基盤整備事業」の採択に向けて取り組み、平成30年から事業着手されています。

農地の集約化を進めることにより、将来、耕作放棄地が増えないよう、地域住民が話し合いをしながら進められてきたと伺いました。



#### 《屏風岩改良・門原防災事業》

現場にて、高山国道事務所副所長から工事の進捗状況と今後の予定について説明を受けました。

屏風岩改良の現場は出水期であることから、現在は工事を中断していました。

国道41号の落石が心配される箇所を回避するための工事であり、安全に工事を進めるために迂回路が必要であることの説明がありま

した。



8月22日、県下呂土木事務所と県下呂農林事務所が所管する令和4年度事業について説明を受けました。また、（一社）下呂建設業協会理事との意見交換会を行いました。

#### 《下呂土木事務所事業説明》

所長他2名に出席をいただき、令和4年度の主要事業について説明を受けました。

主に道路の維持管理に努められており、道路の陥没による通行車両の損傷は過去2年間皆無であり、橋梁は、5年に一度の点検が義務付けられており、1回目の点検はほぼ完了し、2巡目に入っているとのことでした。

#### 《下呂農林事務所事業説明》

所長他7名に出席をいただき、令和4年度の主要事業について説明を受けました。

農業については、担い手の育成事業、基盤整備事業、農畜産物のブランド化などさまざまな支援が

されていること、林業については、下呂市には60年を超える森林があることから、森林環境譲与税を活用して事業を推進していくために支援がされていることなどについて説明を受けました。



#### 《（一社）下呂建設業協会理事との意見交換会》

理事長他7名の理事に出席いただき、建設業協会の現状と課題について説明を受け、意見交換を行いました。

下呂建設業協会に所属する事業所の従業員は、平成11年に956人だったが、令和4年には496人までに減少し、担い手不足が深刻であるとの説明を受けました。

取り組みとして、地元中学生的の職業体験の受け入れを積極的に行っていることなど紹介いただきました。



## 『未来の下呂市』を議員と一緒に考えましょう

下呂市議会では、市民の皆さまの声を市政に反映させるため、地域の課題や悩みを話し合い、一緒にまちづくりを考える『市民と議会との意見交換会』を開催しています。

令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、従来実施してきた地域（旧町村）単位での集合形式によるものではなく、自治会・町内会や各種団体などの小さな集会にこちらから出向く形式で行います。皆さまからの申し込みをお待ちしています。

### ■開催主体

自治会・町内会や各種団体等からの申込みを受け開催します。

自治会等単独での開催が困難な場合は、複数の自治会等での合同開催でも受け付けます。

### ■開催日時および会場

令和4年度は、12月までを開催期間とし、開催日時は、申込団体と協議、調整の上、決定します。曜日、時間帯に制限はありません。開催時間はおおむね60分〜90分程度とします。開催場所は、申込団体での確保をお願いいたします。

### ■意見交換会のテーマ

申込団体において、地域の特定課題等を踏まえてテーマを設定していただきます。

単なる要望や苦情ではなく、建設的な意見交換の場となります。ようご協力をお願いします。

### ■申込方法

事前に申込書を提出してください。申込書受理後、開催決定通知書をお送りします。

申込書は、市ホームページからダウンロードしていただくか、議会事務局（電話24-2222）までご連絡願います。連絡後に郵送します。

※なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、開催を自粛させていただきますので、あらかじめご了承ください。



## 12月定例会会期日程(予定)

12月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
11月30日	水	本会議(初日)	午前9時30分~
12月13日	火	本会議(一般質問)	
14日	水	本会議(一般質問)	
15日	木	常任委員会	
16日	金	常任委員会	
19日	月	予算特別委員会	
21日	水	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合があります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3階第1会議室)

## インターネットライブ配信

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(Youtube)にてライブ配信を行います。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtpr-rJGKQ>  
過去のライブ配信動画は、下呂市ホームページから視聴できます。



## 編 集 後 記

私の地元、小川大淵地区で長年愛された竜神碑。今年の秋に現在整備中の(仮称)イベント広場に移設される予定です。毎年「龍神まつり」の祭事が行われるため、町内の方々をはじめ、子ども会、敬老会などが一つになって草刈りや樹木の剪定を行って竜神碑を守ってきました。

令和2年7月の豪雨災害では、益田川の増水で周辺はかなりの被害を受けましたが、竜神碑は何事もなかったかのように凍として建っていて正に「竜神パワー」を感じました。

新天地に移設されても地元の方々はもちろんのこと、訪れる皆さま方に愛され、親しまれ、そして下呂市を見守っててください。(T.T)

## 下呂市議会だよりがスマホで読めます!!

インターネット上で無料閲覧できる、ギフイーブックスで配信中です。

